

## 《 課題提出について 》

本研修は受講生の指導事例を使用して演習を行います。事例については、受講生が他の介護支援専門員等に対して指導を行った指導事例を作成してください。

以下の注意事項に留意して課題を作成し、研修申込時に提出してください。

### 【◆ 支援・指導を行った事例（指導事例という） ◆】

事例の対象について

利用者	在宅で生活しておられる方又は介護保険施設入所、グループホーム、サービス付高齢者住宅、ケアハウス、有料老人ホーム等に入居されている方、入院中で退院に向けて検討させている方のうち、要介護認定を受けている方
対象外	・要介護認定を受けていない方 ・自分が担当している方 ※上記の通り、あなたが「支援・指導を行った事例」が対象です。
バイザー	上記利用者を担当している介護支援専門員又は相談員等
バイザー	バイザーを支援・指導したあなた自身（主任介護支援専門員の資格取得者）

### 【◆ 注意事項 ◆】

利用者及び介護支援専門員又は相談員等のプライバシー保護のため、以下の例に従って記入してください。

利用者氏名	Aさん（※イニシャルは使用しない。）
介護支援専門員 又は相談員	Bさん（※イニシャルは使用しない。）
事業所名	記号（例：C事業所 D医院 Eデイサービス F市サービスセンター等）
地域名称	記号（例：G県 H市 J区 K町等）
固有名詞等	固有名詞はすべて記号で記載する（例：L大学 M会社等）
相談情報内容	バイザー及びバイザーの経験年数、利用者の年齢や要介護度等の状況については、相談を受けた時点の情報を記載する。

記入する項目について、以下を参考にしてください。

カテゴリー	カテゴリーは、主任介護支援専門員更新研修における「主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践」の科目であり、必ず選択する。
所属機関等	介護保険関係事業所の種類（例：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護…）を記載する。
経験年数	相談を受けた時点での実務経験の通算年数を記載する。
利用者の自立度	「障害高齢者の日常生活自立度」「認知症高齢者の日常生活自立度」において、該当するランクを記載する。

※ 課題様式は『兵庫県介護支援専門員協会』のホームページからダウンロードできます。家族構成については手書きでも構いません。パソコンが使用できない場合は手書きで記入してください。

※ パソコンで記入する場合は、字体は「明朝体」で入力してください。

※ 原本は必ず1部、保管しておいてください。

### 【◆ 提出内容 ◆】

作成する書類（様式）		県協会事務局へ提出
演習事例（演習用）提出 【Aシート】又は【Bシート】	地域包括支援センター又は居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員の方は【Aシート】、それ以外の方（包括・居宅以外の方）は【Bシート】を1部提出してください。（地域ケア会議又は事例検討会等で指導した事例も含まず。）	1部 （両面印刷）
事例提供に関する 誓約書・同意書	バイザーとバイザーが押印した用紙（原本）はバイザーに手渡し、コピーをご提出してください。	1部（コピー）

書式は必ず所定の枠内におさめて、A4サイズ1枚（両面コピー）にまとめて提出してください。

# 記入例

## 【Aシート】 演習事例提出シート【氏名：

カテゴリ： ①リハビリ ②看取り ③認知症 ④医療連携 ⑤家族支援 ⑥社会資源 ⑦多様なサービス活用  
(あてはまるもの1つ以上に必ず○をつけてください)

この指導書に提出した理由(主任介護支援専門員として振り返ってみたい点)

必ず1つ以上に○をつけて下さい。

◆地域名称、固有名詞等は必ず、記号で記載してください

(例：G県、H市、J区、K町、L大学 M会社 等)

ドイツ→外国

※頭文字をイニシャルにしないでください。

主任CMの所属機関種別： (CM経験

バイジー (担当ケアマネ) 事業所名ではなく種別を記入

CM経験年数	年	資格	所属機関	種別
--------	---	----	------	----

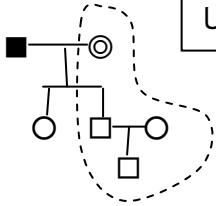
性別を○で囲んでください。

### 【A】利用者の状況と課題 - バイジー (担当ケアマネ) から聞き取った事例の概要など -

利用者	男・女	現在の要介護度：	自立度：	認知症自立度：
-----	-----	----------	------	---------

本人と家族の要望  
同居人は必ず枠で囲んで下さい。  
独居の場合は本人だけ囲んで下さい。

家族構成図  
利用者は  または  で記入してください。



記入例

◆よくある不備について

不備等があった場合、再提出となる場合もございますのでご注意ください。

【不備の例】

- ・「現在の要介護度」「自立度」「認知症自立度」の欄の未記入。
- ・地名や会社名などが記号化されていない。
- ・ジェノグラムの同居の囲みがない。
- ・「日常的な医療的処置の状況」が未記入。
- ・【A】の内容又は【B】・【C】の内容が次ページにわたっている。

本人・家族の主な生活歴 (特記事項) など

バイジー (担当ケアマネ) が担当となった経緯

(援助期間： )

医療的な状況など (主な疾病・入院歴など)	日常生活動作の状況など(精神状態含む) 移動： 食事： 排泄： 入浴： 更衣： コミュニケーション 認知症等の状況	その他の生活状況など 経済状況 住居状況 近隣等との関係、その他
--------------------------	--	---

医療的処置がない場合は「なし」とご記入下さい。

【A】の情報は表面(1ページ目)にまとめてください。【B】は裏面(2ページ目)から始めてください。

未記入の欄や不備、次ページにわたる場合、再提出となる場合がございますので、再度確認の上ご提出ください。

# 記入例

裏面（2 ページ目）は【B】のタイトルから始めてください。

## 【B】バイザー（担当ケアマネ）による利用者への支援の概要

バイザー（担当ケアマネ）からみたこの利用者本人や家族の印象・特徴など	<p>◆地域名称、固有名詞等は必ず、記号で記載してください                  （例：G県、H市、J区、K町、L大学 M会社 等）                  ドイツ→外国                  ※頭文字をイニシャルにしないでください。</p>
バイザー（担当ケアマネ）の主な支援経過・社会資源の活用状況	
バイザー（担当ケアマネ）が考えたこの事例に対する支援課題・支援目標	

## バイザー（担当ケアマネ）から主任CM（バイザー）へ相談の経緯とその理由

バイザー（担当ケアマネ）の悩んでいること、抱える問題、主任CMへの相談理由など	
主任CMと担当CMの関係	※内部（同一職場）か外部かを記入すること

## 【C】主任CM（バイザー）によるバイザー（担当ケアマネ）への支援の内容・経過

主任CMからみたこの事例の問題点・課題	
主任CMが考えたバイザー（担当ケアマネ）への支援課題、支援（指導）の目標と計画など	
バイザーによる支援（指導）の経過	
バイザーとしての振り返り	（バイザーの変化・バイザーの支援の評価など）

【B】・【C】の情報は裏面（2 ページ目）にまとめてください。

未記入の欄や不備、次ページにわたる場合、再提出となる場合もございますので、再度確認の上ご提出ください。